



くにうみアセットマネジメント株式会社

代表取締役社長

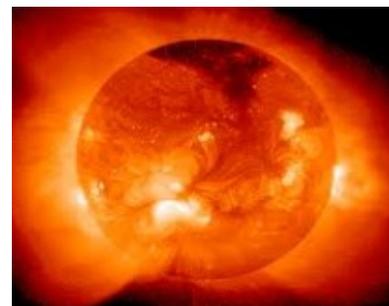
一般社団法人 太陽経済の会

代表理事

株式会社 成長戦略総合研究所

代表取締役社長

山崎 養世



FPCJプレス・ブリーフィング
『日本における自然エネルギー活用の現状と展望』
2015年6月1日



◆ 山崎 養世の略歴



くふうみアセットマネジメント(株)
代表取締役社長
兼 最高経営責任者(CEO)
山崎 養世

一般社団法人太陽経済の会
代表理事

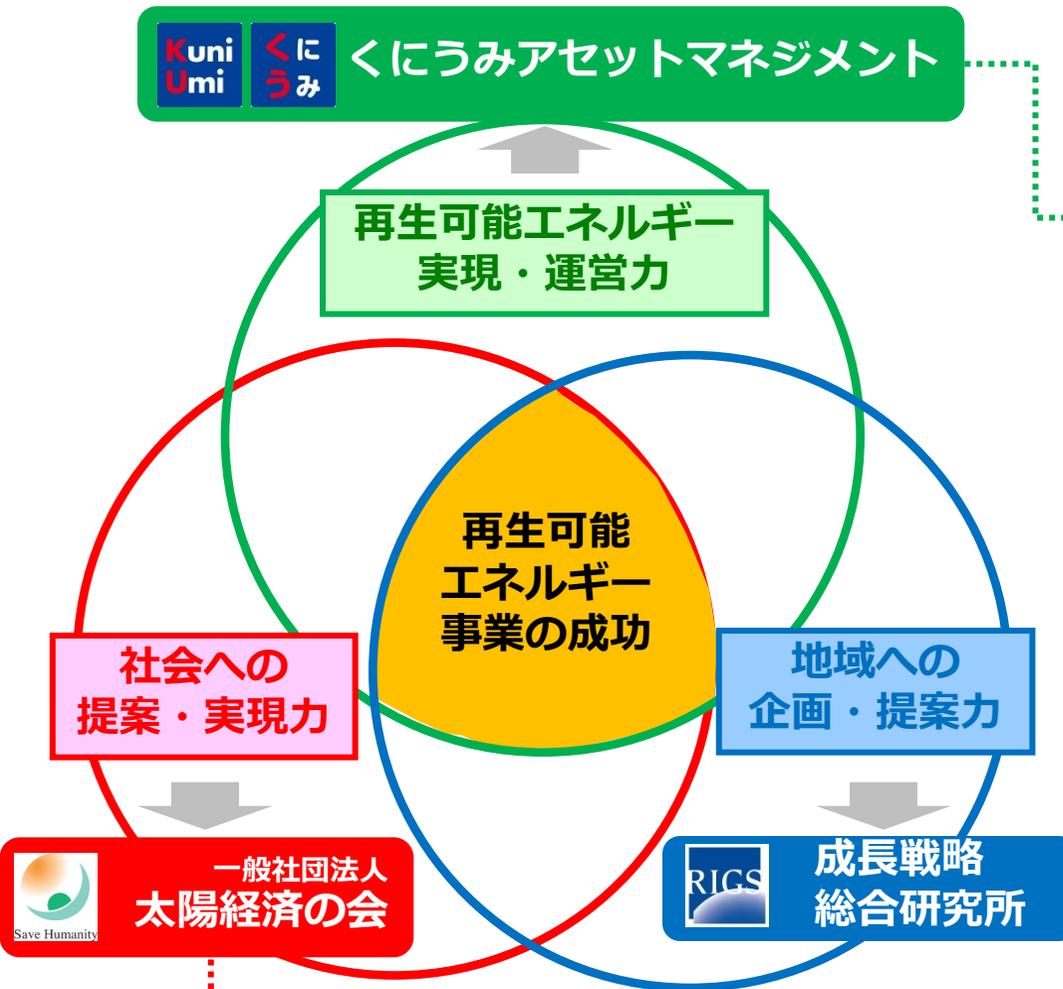
(株)成長戦略総合研究所
代表取締役

- 1982年4月 大和証券株式会社に入社
国際金融、デリバティブ、証券化、不動産投資、年金運用、投資信託などを担当。
- 1989年 日本初の証券化公募ファンド「FNMAファンド」の担当者としてMBS、ABSを有価証券として初の認定。
- 1990年 担当者として開発に携わった日本初の証券化投資信託「ジャンボ・アルファ」が、1990年度日経金融新聞最優秀商品賞受賞。
- 1994年1月 米ゴールドマン・サックス社に入社。日本での資産運用業務の立上げを担当。
その後、本社パートナー。
ゴールドマン・サックス投信株式会社代表取締役社長を歴任：(2002年3月まで)
- ・ この間、ゴールドマン・サックス投信は設立3カ月後に外資系トップになり、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・ジャパン(投資顧問)と合わせ、業務開始後2年間で約3兆円の運用資産。
 - ・ 社長在任中、日経金融新聞のグローバル運用部門で連続1位の評価
 - ・ ゴールドマン・サックスの会社で初めて消費者マーケティングを開始。広告、書籍出版、セミナー、テレビ番組制作など展開。2000年日経広告賞受賞。
 - ・ 日米金融協議(1994-95年末)で、年金、投資信託の改革案を米側代表として作成。
 - ・ 世界最大の年金基金である年金福祉事業団の最大の運用マネジャーになり、投資顧問業務開始後1年で日本のトップ10企業年金の内8社から受託。
- 2002年 ゴールドマン・サックス社を退社。
シンクタンク山崎養世事務所を設立。
- 2008年5月 日本コアパートナー株式会社を設立、代表取締役に就任。
- 2009年2月 一般社団法人太陽経済の会を設立、代表理事に就任。
- 2009年10月 総務省顧問に就任(2010年9月退任)。
- 2009年12月 成長戦略総合研究所を設立、代表取締役兼理事長に就任。
- 2012年2月 くふうみアセットマネジメント株式会社を設立、代表取締役に就任。

現在、一般社団法人太陽経済の会代表理事／(株)成長戦略総合研究所 代表取締役兼理事長として、金融、財政、国際経済問題等に関する調査・研究及び提言活動を行うとともに、くふうみアセットマネジメント株式会社 代表取締役として、再生可能エネルギー関連事業を中心に業務に当たる。

- ◆ 東京大学経済学部卒業
- ◆ カリフォルニア大学ロスアンゼルス校(UCLA)経営学修士号(MBA)取得

◆ 当グループの有する3つの力



◆ 案件開発・実現力

- 企画・運用・管理など、社内外に経験豊富なプロフェッショナルを配置し、案件開発・実現を強力に推進。

◆ 資金調達力

- 世界有数の金融機関等との協業による豊富な資金調達力。

◆ 高品質・最適技術の調達力

- 国内外の最高の技術パートナー企業との協業により、高品質・最適コストの信頼度の高い技術の調達・提供力。

◆ 地域開発力と数多くの実績

- 地域開発/地域活性化コンサル能力と数多くの成功実績。

◆ 自治体からの案件持ち込み力

- 首長・自治体・地域からの直接リクエストによる案件獲得力。

◆ 有識者ネットワークと信頼力

- 震災前から活動を続ける社団法人の有識者ネットワークと信頼力。

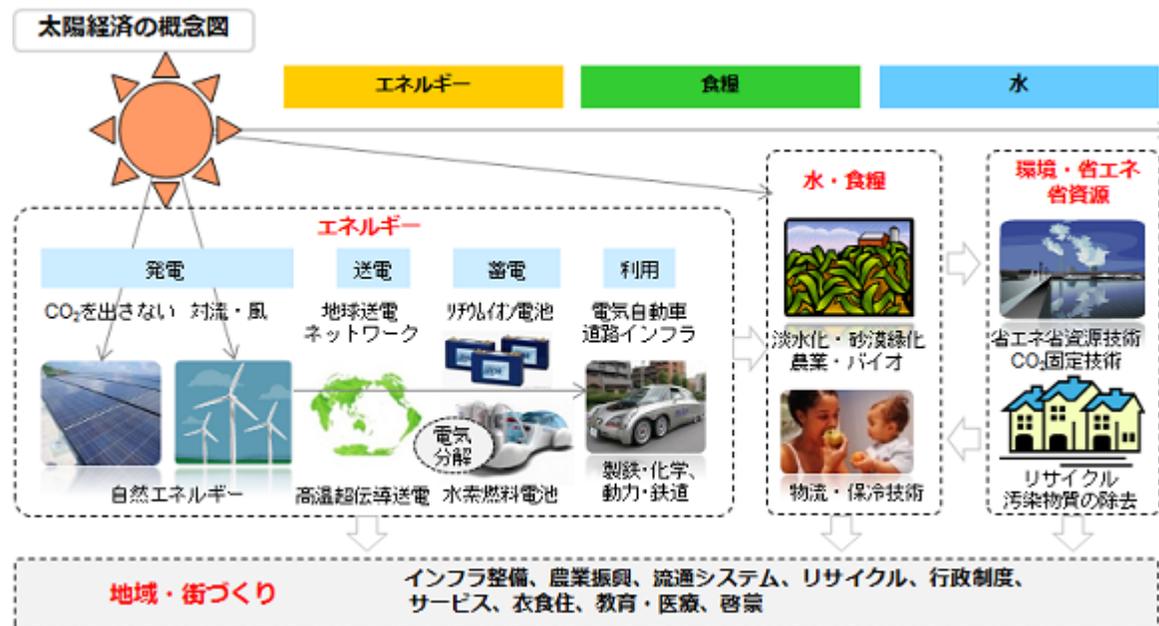
◆ 国・省庁・関係機関からのバックアップ力

- 新概念の再生可能エネルギーの証券化や、今までにない大規模ソーラー案件を、国・関係省庁・関係機関が全面バックアップ。

3つの力の連携により、再生可能エネルギー事業を中心とした事業の実現、地域活性化実現を成功に導く

◆ 一般社団法人 太陽経済の会

- 「太陽経済」とは、太陽から得られるエネルギーを活用し、技術・英知によって、人類の生存に必要なエネルギー・食糧・水を全人類に行きわたらせることを可能にした新しい経済を意味し、代表理事を務める山崎養世が提唱した言葉です。
- 太陽経済の会は、「太陽経済」実現のため、理念を普及させるための活動を行う会です。
- 活動内容:政策提言、セミナー開催、会員交流 趣旨に合致する研究・企業活動への支援等
- 2009年に太陽経済の会を設立した後、その活動の中から生まれた再生可能エネルギー関連プロジェクトの事業化を目的として、山崎養世を代表取締役として2012年、くにうみアセットマネジメント株式会社が設立されました。



◆ 一般社団法人 太陽経済の会

【ご参考】 くにうみグループの強みと実績①

太陽経済 かわみなみ会議 2015年5月18日（宮崎県川南町にて）
共催：川南町 後援：農林水産省、宮崎県、女性未来農業創造研究会

林業、木の文化、農業のスペシャリストが集結！
2015年4月1日の木質バイオマスの宮崎森林発電所（宮崎県川南町）稼働をきっかけに
宮崎県内の各市町村の更なる発展を熱く議論、地元のみならずと考える会

講演会 13:00~ 15:30
参加者 約180名

主催者挨拶 山崎義世 太陽経済の会 代表理事



講演会参加者



来賓挨拶



江藤順子様
衆議院議員江藤拓様 代理 代議士夫人



牧元幸司様 林野庁林政部長
(前宮崎県副知事)



日高昭彦様 川南町長

挨拶



山下壽
株式会社宮崎森林発電所 代表取締役

特別講演 『木の文化』



齋藤裕様 齋藤裕建築研究所

懇親会 16:00~ 17:20
参加者 70名

ご祝辞



山田純様
会津電力株式会社 代表取締役 副社長

乾杯のお言葉



藤井滋生様
女性未来農業創造研究会 代表理事

パネルディスカッション ① 『森から始める地域の成長』



山崎義世 牧元幸司様 佐藤浩一様 フランツ・ワルデンベルガー様 西川幸成様
林野庁林政部長 宮崎県環境森林部 次長(技術担当) ドイツ日本研究所 所長 取締役

パネルディスカッション ② 『農業で地域を繋ごう』



山崎義世 日高昭彦様 大和田順子様 河野正和様 大桃美代子様
川南町長 農林水産省 都農町長 東京農業大学
世界農業遺産 非常勤講師
専門家会議委員 地域再生大賞
選考委員 他



◆ 一般社団法人 太陽経済の会

【ご参考】 くにうみグループの強みと実績②

「太陽経済かながわ会議 ～今、始まる。ソーラー革命！～」を神奈川県と共催

主催：神奈川県太陽経済を進める実行委員会 会場：新都市ホール
 特別セッションでは、来賓の農林水産大臣（当時）鹿野 道彦氏が飛び入り参加し「休耕田での再生可能エネルギーの利用を検討する」というサプライズもあり、会場から掛け声があがるなど大変盛り上がりました。また、パネルディスカッションでは、島田久仁彦氏の「3.11は世界に向けたエネルギーのウェイクアップコール」になったとの解説は、多くのメディアにとりあげられました。
 事前受付開始1日で満席となり、受付開始前の早朝より列ができるほどの盛況ぶりでした。

第1部 トップセミナー 「太陽経済実現への戦略」



（特別セッションの5名と鹿野大臣）

1. 実行委員会挨拶 黒岩祐治(神奈川県知事)
山崎養世(太陽経済の会 代表理事)
2. 挨拶 持田文男(神奈川県議会 議長)
3. ビデオメッセージ 中曽根康弘(元内閣総理大臣)
4. 特別セッション 『太陽経済が日本を救う』
 コーディネーター：黒岩祐治(神奈川県知事)
 パネリスト：小宮山宏(三菱総合研究所 理事長、
東京大学 総長顧問)
 孫正義 (ソフトバンク 代表取締役社長)
 南川秀樹(環境事務次官)
 山崎養世(太陽経済の会 代表理事)

第2部 県民フォーラム 「太陽光の輝く未来都市」

- 横浜市の取り組み 林文子(横浜市長)
- [かながわソーラープロジェクト研究会]経過報告
村沢義久(東京大学 総長室アドバイザー、神奈川ソーラープロジェクト研究会会長)
- 特別講演
 - ① 太陽光発電とEVが創る新しい社会 志賀俊之(日産自動車 最高執行責任者)
 - ② 私たちの暮らしとエネルギー 浜中裕徳(地球環境戦略研究機関 理事長 かながわ地球環境保全推進会議 会長)
- パネルディスカッション
 コーディネーター：島田晴雄(千葉商科大学 学長)
 パネリスト：黒岩祐治(神奈川県知事) / 飯田哲也(環境エネルギー政策研究所 所長) / 内田裕久(東海大学理事・工学部教授) /
 海老根靖典(藤沢市長) / 島田久仁彦(International Strategies代表取締役社長 環境省参与、当会特別顧問) /
 野中ともよ(ガイア・イニシアティブ 代表)



◆ 一般社団法人 太陽経済の会

【ご参考】 くにうみグループの強みと実績③

農林水産省委託プロジェクト研究の実施／バイオマスエキスポの開催

農林水産省委託プロジェクト研究

「地域活性化のためのバイオマスの利用技術の開発」研究成果発表会 (2012年3月13日)

主催：(独) 農業・食品技術総合研究機構
 共催：農林水産省 農林水産技術会議事務局
 事務局：(一社) 太陽経済の会

農林水産省が平成19年度から23年度の5年間に、低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発やバイオマス・マテリアル製造技術の開発を行う研究プロジェクトを実施してきたこれまでの研究プロジェクトの成果を中心に、バイオマスの利用技術の最新の研究成果を講演とポスターで紹介。



熱心な参加者で埋め尽くされ満席の会場

バイオマスエキスポ2012 (2012年5月30日～6月1日 @東京ビッグサイト)

主催：バイオマスエキスポ実行委員会
 主催事務局：(一社) 太陽経済の会

再生可能エネルギー、熱利用、制御・IT・送配電技術、スマートハウスやスマートビルに特化したスマートコミュニティのイベント「スマートグリッド展(主催：日刊工業新聞社)」、環境対応エンジン、くるまの製造技術、燃料に特化した「次世代自動車産業展(主催：日刊工業新聞社)」、モノづくり革新展(主催：日刊工業新聞社)と同時開催。(来場者数 3日間合計 44,049名)



開会式 テープカット

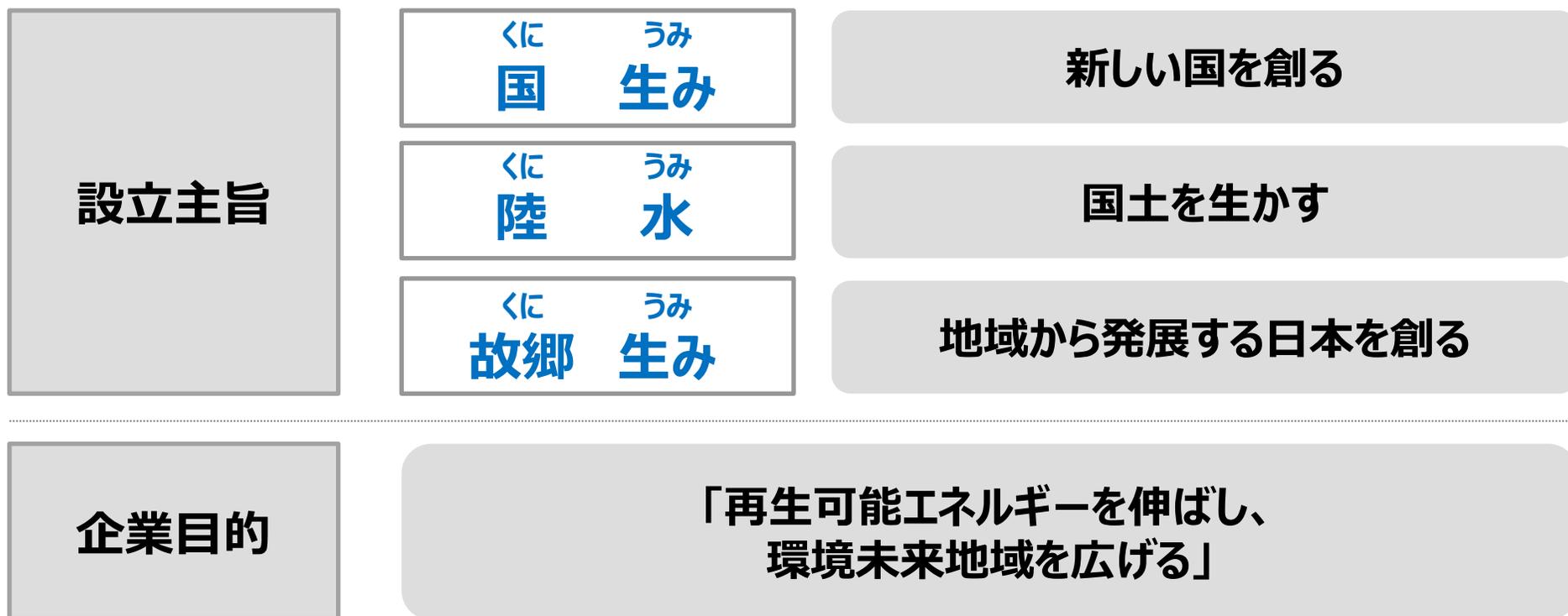


開幕前から長蛇の列ができた受付

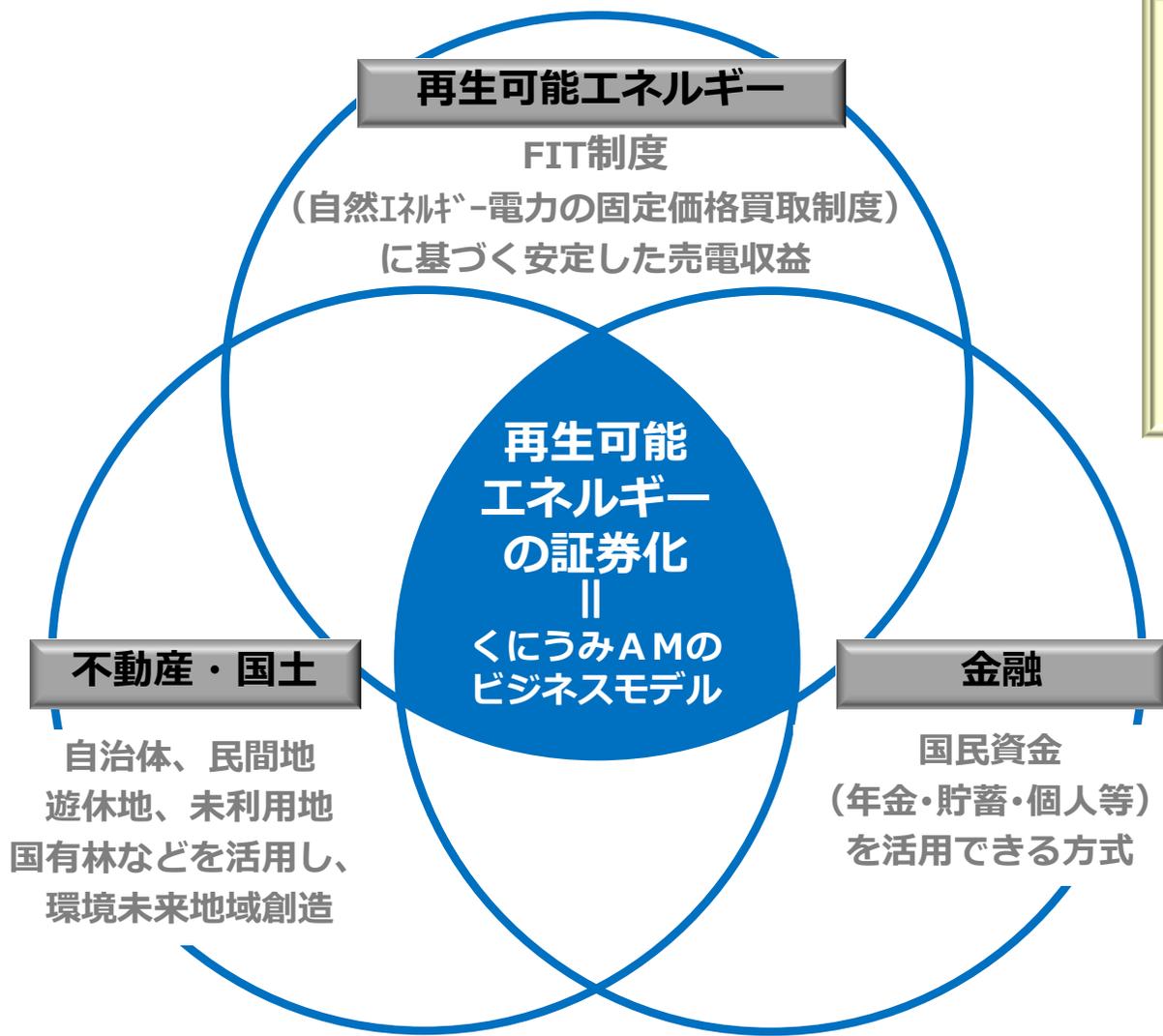
◆くにうみアセットマネジメント設立の背景

- 社会的企業としての生い立ち
 - 2009年、一般社団法人 太陽経済の会を当社代表の山崎が設立
 - 震災前から「再生可能エネルギー」や「地域開発」における活動を続けている
 - 2011年、再生可能エネルギーを使った発電事業の開発・運営を行うため、当社設立

- なぜ「くにうみ」か？



◆ くにうみアセットマネジメントのビジネスモデル



くにうみAM = 発案者
 行政、地方自治体等に
「再生可能エネルギーの証券化」
 を提案
 ↓
 実現へ

再生可能エネルギー普及の
 カギ = 「証券化」

環境未来地域づくりにも
「再生可能エネルギー証券化」
 の活用

◆太陽光発電事業（岡山県瀬戸内市）

瀬戸内Kirei未来創り合同会社(SPC)

岡山県瀬戸内市の錦海塩田跡地にて、230MWの日本最大級のメガソーラーを建設中。

- 岡山県瀬戸内市、塩田跡地
- 230 MW DC, 260 ha
- 総事業費：約1,100億円
- 建設開始：2014年10月～
- 発電所運転開始：2019年予定
- 出資者：くにうみAM、GE EFS
東洋エンジニアリング
- 融資金融機関:28 金融機関
幹事3行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行
- EPC：東洋エンジニアリング、清水建設
- 系統接続：中国電力
- O&M：中電工
- 公開情報：<http://www.city.setouchi.lg.jp/kinkai>
<http://www.setouchimegasolar.com>



完成予定図

2015年5月28日 瀬戸内Kirei未来創り合同会社 ホームページが完成しました！！

http://www.setouchimegasolar.com



瀬戸内Kirei未来創り合同会社

瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設プロジェクト

プロジェクト情報

地域とともに発展する
再生可能エネルギー事業

「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」を建設しています

日本最大級のメガソーラーを瀬戸内市に

晴れの日が多く温暖で災害も少ない岡山県瀬戸内市。太陽光発電には最適な地域のひとつです。その瀬戸内市のほぼ中央、瀬戸内海に直して東西約2.8km、南北約1.8kmにわたって広がる総面積約500ヘクタールの船海塩田跡地。

2019年に
商業運転開始を目標し
只今、建設中

今、この広大な土地と日照に恵まれた気候を活かし、日本最大級となる太陽光発電所を建設中です。



瀬戸内市長 武久 隆也 市長よりご挨拶



瀬戸内市 武久 隆也 市長よりご挨拶
瀬戸内市ホームページ
かつて「塩田」の地帯とよばれる瀬戸内市西部の船海塩田跡地は、質と量が決定的に大きなプロジェクトによって、新たな命に生まれ変わろうとしています。
日本最大級の太陽光発電所の建設によるクアーンエネギーの創出、生息する貴重な動植物を守る自然環境の保全、市民を安心から守る安全安心の創出、土地の貸し付け収入を財源としたまちづくりへの貢献。
これらを実現することで、子どもたちに誇りと希望を、市民に「太陽のまち」として瀬戸内市が輝き続けることを期待します。

プロジェクト概要

最新情報

- 2015.05.11 **プレスリリース** 船海塩田跡地の中央排水路整備工事完了のお知らせ
- 2014.11.07 **プレスリリース** 瀬戸内 Kirei 太陽光発電所の本格着工について
- 2014.09.29 **プレスリリース** 瀬戸内メガソーラープロジェクトの実施について

発電事業

発電所が完成すると



電力供給量
約230メガワット

本発電所の最大発電能力は約230メガワット。太陽光発電所の発電量は、日照の方向・高さ、雲の状況、気象条件の自然条件によって増減を繰り返しますが、本発電所では、年間を通じて一般家庭約7万世帯の消費電力に相当する電力を供給します。



敷地面積
約265ha

船海塩田跡地の500ヘクタールのうち約205ヘクタールに太陽光発電所をつくらせます。東部ドーム約55haも残っています。



CO₂削減
約192,000t

太陽光発電所のCO₂削減により、瀬戸内KireiCO₂削減目標の約半分、年間約192,000tを削減する効果が期待できると試算しています。



ソーラーパネル
約89万枚

本発電所のソーラーパネルは、あらかじめ製作、検査や性能が日本標準している「純正シリコン型」のパネルです。
本発電所では、平均して1日あたり2,000枚のパネルを工場から搬入し、ソーラーパネルの電力をパネルを固定する作業です。

発電所概要

運営主体: 瀬戸内 Kirei 未来創り 合同会社	事業種: 岡山県瀬戸内市 公共施設・市民庁庁舎
発電容量: 約230MW	建設開始時期: 2015年を予定
発電所長: 約1.8km	送電: 中電電力

- ◆ 2019年運転開始予定の瀬戸内Kirei太陽光発電所建設プロジェクト Webサイトです。
- ◆ 建設工事の進捗情報、動画も掲載しています。

2015年5月現在

発電事業

マンホール掘削状況
発電所敷地の掘削下で埋設するマンホール施工完了です。施工時に埋設の土が崩れにくいようにする為、掘削が崩壊の危険を軽減しています。マンホールは、工期で事前に製作した製品を納めています。

安全安心

中央排水路整備状況
中央排水路工事は完了しました。汲水リフトが稼働する為、サイト内の中央排水路の上流部の掘削作業を開始しました。この掘削工事は完了し、水を引き溜めています。

マンホール掘削
電線管埋設作業
マンホール掘削
マンホール掘削
電線管埋設完了部分
マンホール掘削
電線管埋設完了部分
マンホール掘削
電線管埋設完了部分

安全安心

玉津浦防風壁施工状況
玉津浦の防風壁に、防風壁を支える基礎を打ち込みます。

安全安心

防風壁施工状況
防風壁のコンクリートを打設しています。

◆太陽光発電事業（茨城県水戸市）

30MW 北関東最大級の水戸ニュータウン・メガソーラーパークの企画開発
発電事業とともに地域・住民・行政・国民参加型の「ナチュラル・ソーラー・ガーデン」を提案

経済産業省の再生可能エネルギー発電設備等導入促進支援復興対策事業費補助金が交付された。

地域貢献、世代間交流、地域・国内・国際交流の発展に

小学校・住宅・介護施設にも隣接する地域におけるメガソーラーを提案

- 地域・住民に愛され、ソーラーのメリットを身近に。
- 強力な情報発信とエコリビング・エコ観光・エコ教育・エコシニアライフの拠点に。



ナチュラル・ソーラー・ガーデン イメージ図



◆木質バイオマス発電事業（宮崎県川南町と秋田県秋田市）

バイオマスのIPP（独立系発電事業者）

として

地域型バイオマス発電所

を全国展開することを通じて

地域経済に新たな資金の循環を生み出します。

宮崎森林発電所
5MW 宮崎県児湯郡川南町



ユナイテッドリニューアブルエナジー
20MW 秋田県秋田市



◆ 宮崎森林発電所 5MW 木質バイオマス発電 宮崎県川南町

同地域で鶏糞バイオマス発電所を運営中の山下壽氏とのジョイントベンチャー 燃料（未利用材）を自主回収するスキーム

- 宮崎県児湯郡川南町
- 発電出力 5.75MW
- 燃料： 木材100%
- ボイラー： 住友重機械工業
- 売電開始 2015年4月
- 事業主： 当社、山下商事
- 総事業費 35億円
 - シニアローン： 14億円
 - 補助金： 14億円
 - 優先株： 3億円、グリーンファイナンス推進機構※
- ※環境省の「地域低炭素化出資事業」の基金設置法人として地域における低炭素化プロジェクトを推進する事業者を出資するという形で支援している団体
- 普通株： 4億円
- 地元で45人を雇用
- 年に72,000トンの木材を燃料として宮崎県から購入
- 宮崎県は木質バイオマス発電事業における最適地の一つ
 - 森林蓄積 589,878 ha、うち人工林 59%
 - 杉素材生産量 160万m³、全国1位
 - 林内路網密度：全国1位

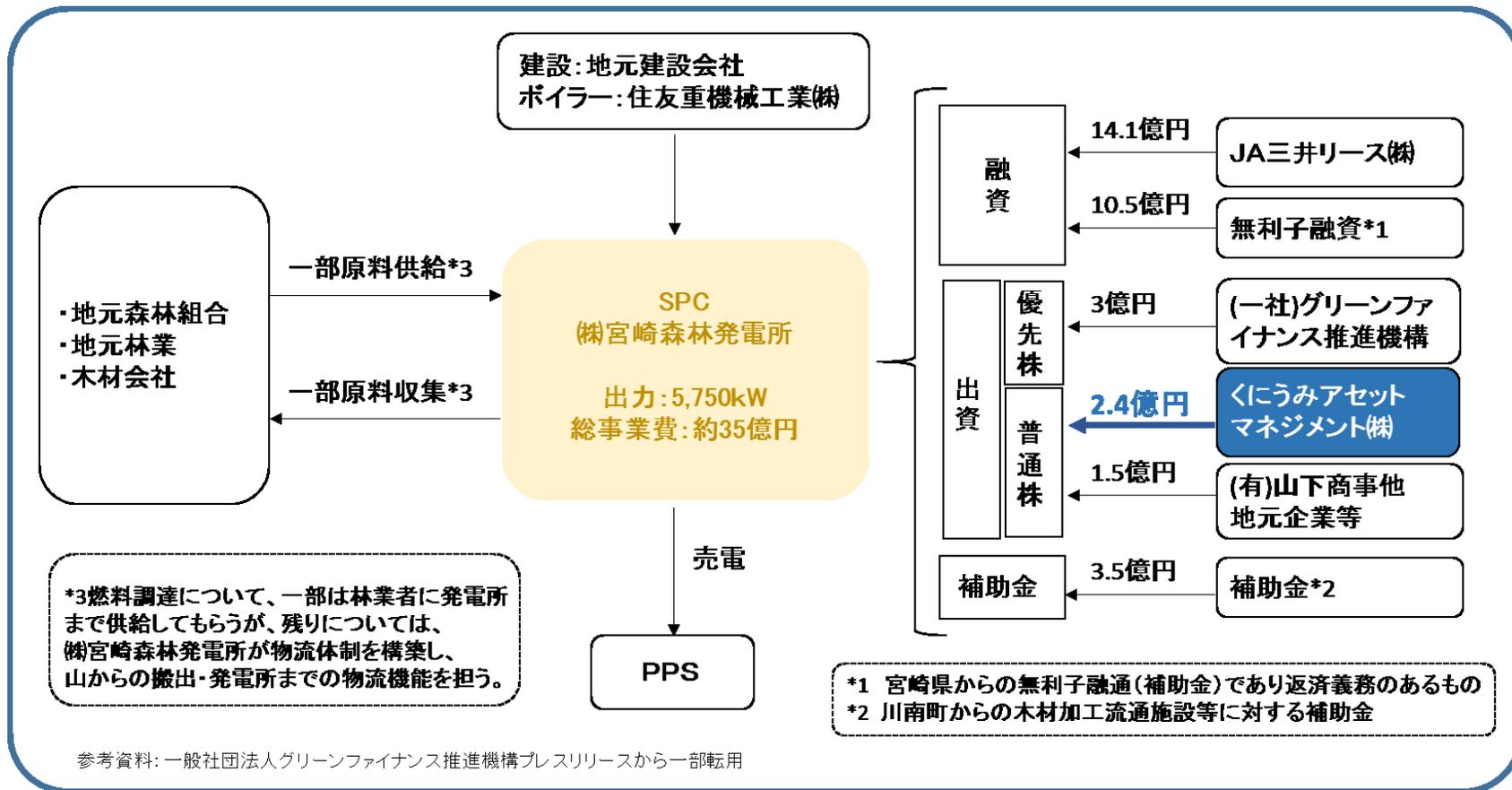


2015年3月

◆ 宮崎森林発電所 資金調達スキーム

◆ 環境省の基金設置法人である「一般社団法人グリーンファイナンス推進機構」が3億円出資（優先出資）

◆ 同機構の出資案件としては8案件目で木質バイオマス発電事業に出資を行うのは初めて

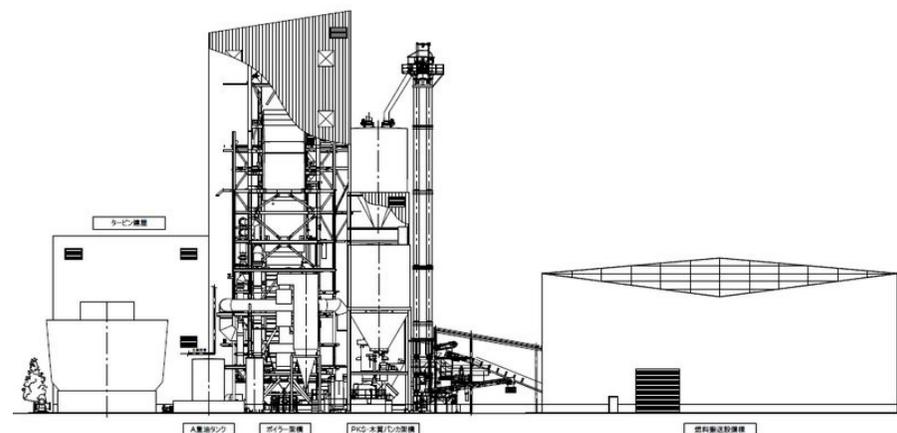
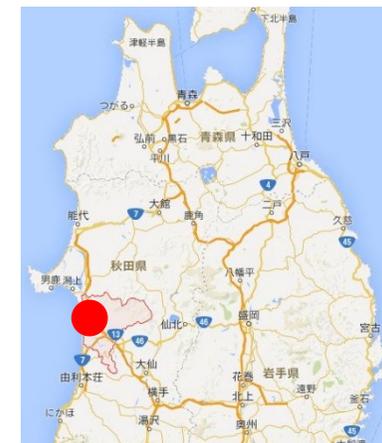


◆ ユナイテッド・リニューアブル・エナジー

20MW 木質バイオマス発電 秋田県秋田市

秋田県で産業廃棄物事業を運営中のユナイテッド計画とのジョイントベンチャー 東北地方で最大級のプロジェクト

- 秋田県秋田市
- 発電出力： 20MW
- 燃料： 木材 70%, PKS 30%
- ボイラー： 住友重機械工業
- 建設開始： 2014年11月 -
- 売電開始： 2016年7月
- 事業主： 当社、ユナイテッド計画、レノバ
- 総事業費： 125億円
 - シニアローン： 106億円、 MLA 北都銀行、新生銀行
 - 優先株： 7億円、グリーンファイナンス推進機構
 - 普通株： 13億円
- 秋田県は木質バイオマス発電事業における最適地の一つ
 - 森林蓄積 839,536 ha、人工林 49%
 - 杉素材生産量 100万m³、全国2位

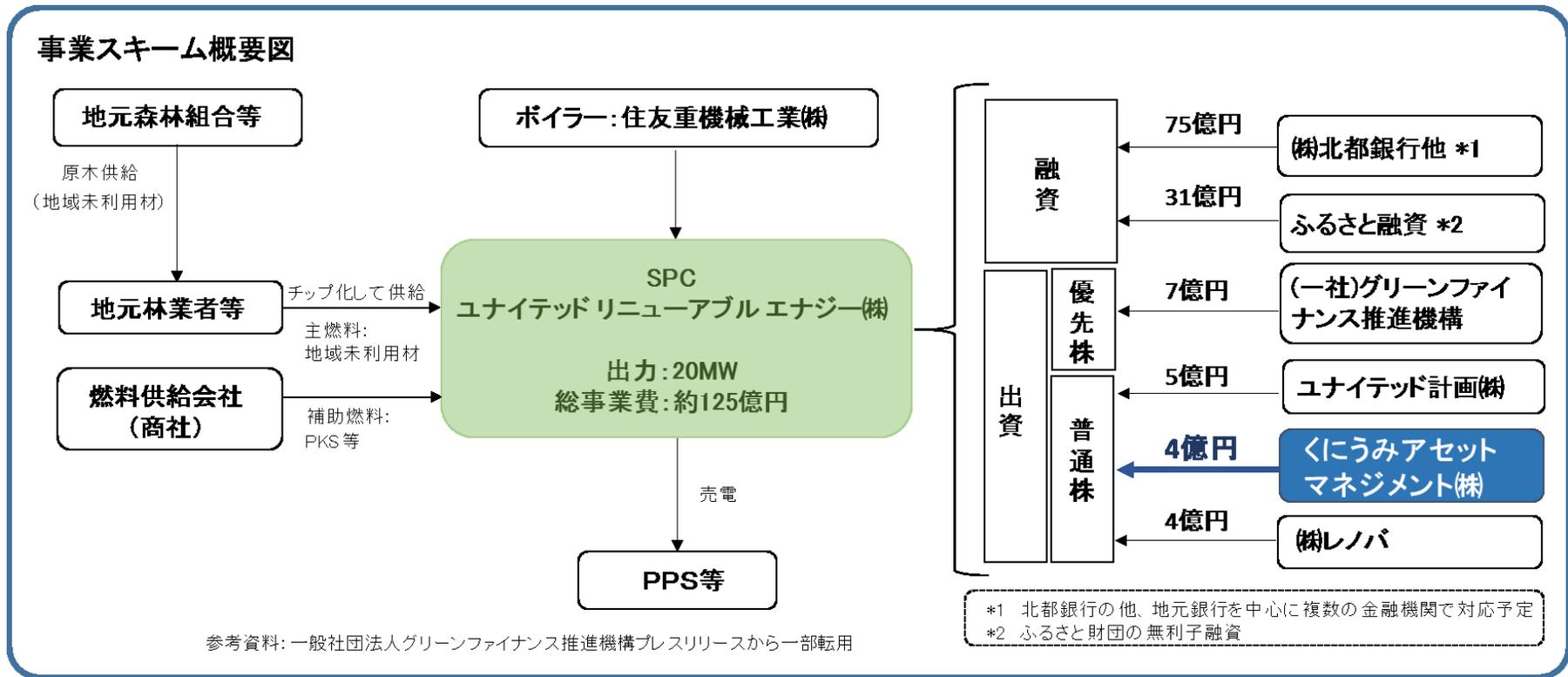


◆ユニテッド・リニューアブル・エナジー 資金調達スキーム

◆一般社団法人グリーンファイナンス推進機構が弊社とともに出資をする2件目

グリーンファイナンス機構の出資決定理由

- ・本プロジェクトについて事業者が林業者や地域のステークホルダーと連携して地域活性化を目指す事業であること
- ・機構の出資が民間資金の呼び水となり、安定電源としての期待が高い。
- ・地域活性化効果も高い木質バイオマス発電事業の普及・促進に貢献できる。



◆「成長戦略総合研究所（RIGS）」の実績

兵庫県／淡路島プロジェクトの概要 - 2011年12月に特区認可決定 -

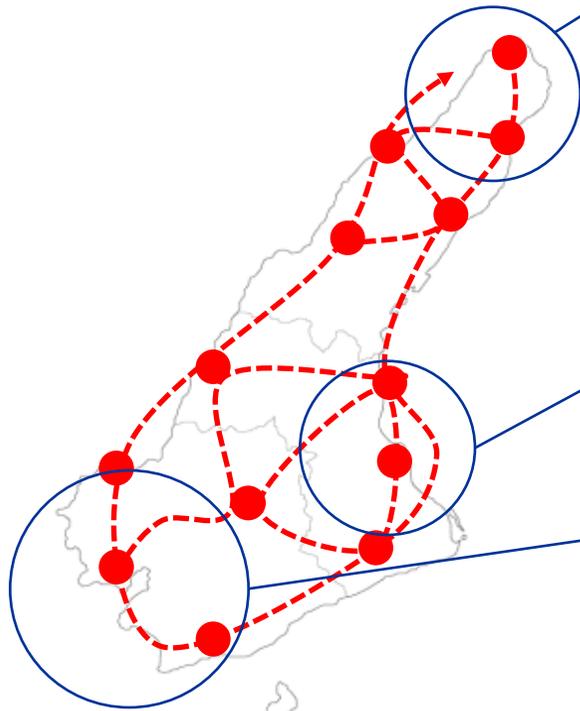
●全島回遊型美術館

島内のギャラリー、寺院、工房のネットワーク化
仮設パビリオンの公開コンペによる若手育成



●個人の特性・ニーズに合った 観光・生活情報の提供

行動データトレースや評価分析
滞在型観光コンテンツ開発など
戦略的マーケティング



ツーリスト向け玄関口、利便性、最先端エコ

淡路島に人を呼び込むためのエリア

- 地元産物のアンテナショップ市場、ショッピングセンター、レストラン
- 周辺の小規模観光農園・施設も含めた動線計画・マーケティングが必要

先端的な環境技術の実証実験をアピールする場

- EV・エコミュバス、ユビ電
- 地域スマートグリッド実証実験

既存路線の拡大、介護・医療、バイオマス、里山エコ

淡路島に滞在してもらうためのエリア

- 滞在型療養・介護施設、別荘地
- 温泉観光地としてのインフラに付け足していく

都市住民への里山機能を提供する場

- 神戸市内の先端医療施設を補完する「長期滞在型健康・療養観光地」の位置づけ
- 全島のバイオマス資源・技術への取り組みを集約し、里山産業として展開

農業を核とする”温故知新の生活様式”、日本の暮らしエコ

淡路島から「新しい産業としての農業」を提案するエリア

- 販売拡大志向型農業—ブランドを利用した国内外輸出向け生産拡大
- 「半農半X」のライフスタイル型農業—園芸療法やアグリツーリズム
- 農業や食に関する実務教育機関の誘致・新設—高付加価値農業製品開発

伝統資源・技術を活かした新しい試みをアピールする場

「木・土・紙・石」プロジェクト—県美術館を巻き込み、全国向けに広報

◆ お問い合わせ先



くにうみアセットマネジメント株式会社
Kuniumi Asset Management Co. Ltd.

所在地 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル3階

電話番号 03-6212-8840

URL <http://www.kuniumi-am.co.jp>



一般社団法人 太陽経済の会
Sun-Based Economy Association

所在地 同上

電話番号 03-6212-1919

URL <http://www.taiyo-keizai.com>



報道関係者様 問い合わせ担当: 丸山、三上